

# 新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県）

【第 43 週（2024/10/21~10/27）感染症発生動向調査速報値（2024/10/30 時点）】

定点医療機関※新規患者報告数： **63** 人、定点医療機関当たり **1.31** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点（小児科29定点、内科19定点）

図1. COVID-19週別発生動向の推移（全国、富山県）

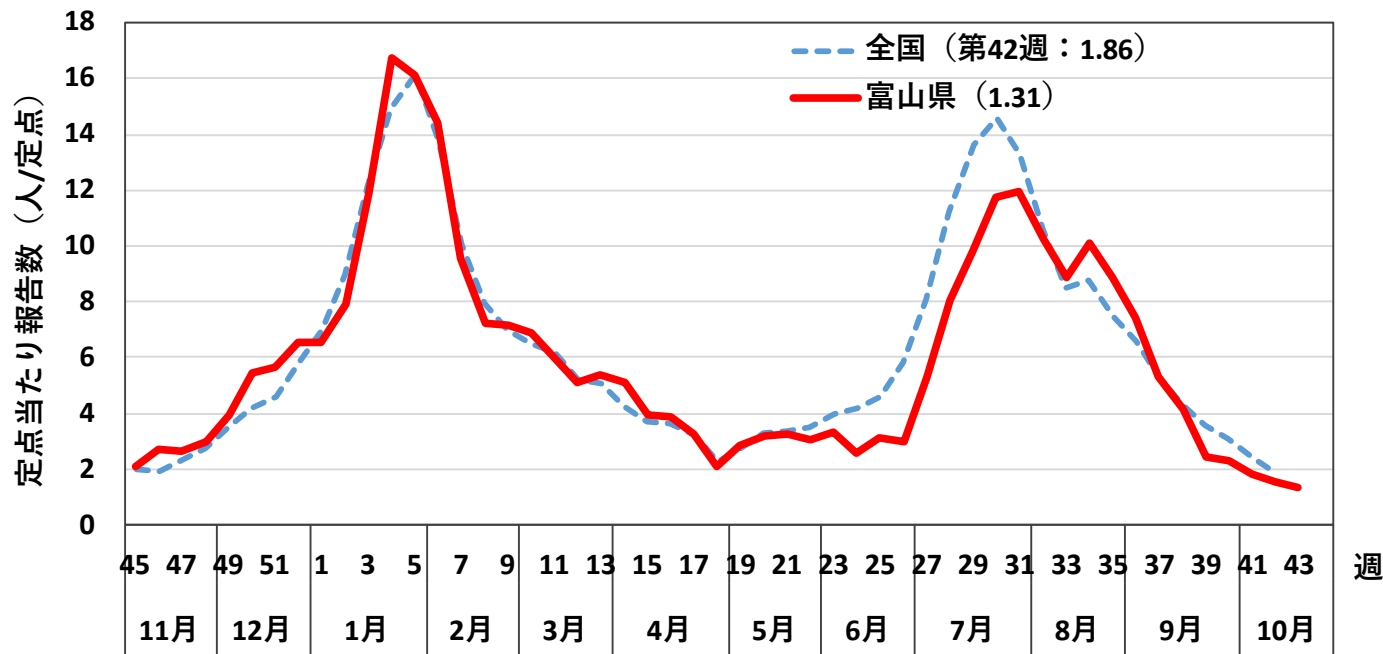
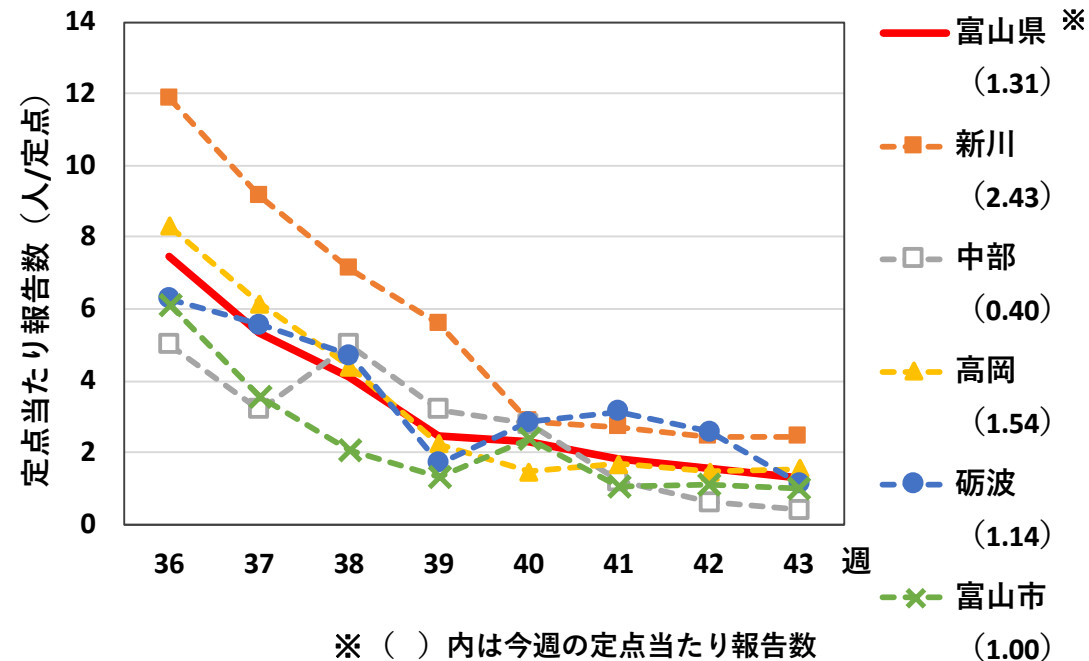


図2. 厚生センター（保健所）管内別発生動向の推移



- 今週の定点医療機関当たり報告数は1.31人/定点であり、先週（1.56人/定点）から減少した（図1）。
- 厚生センター・保健所管内別にみると、砺波管内では先週から減少し、その他の管内では先週から横ばいであった（図2）。

### 図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

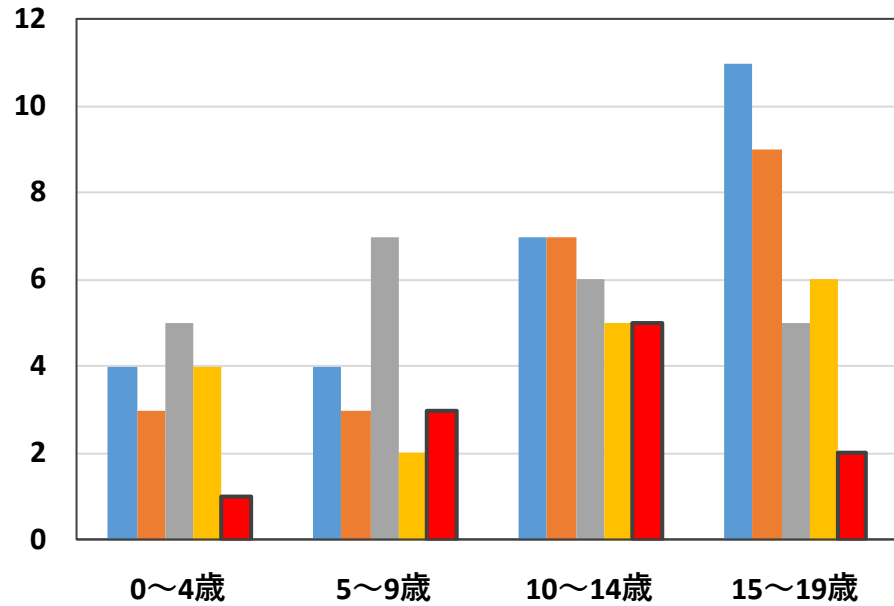
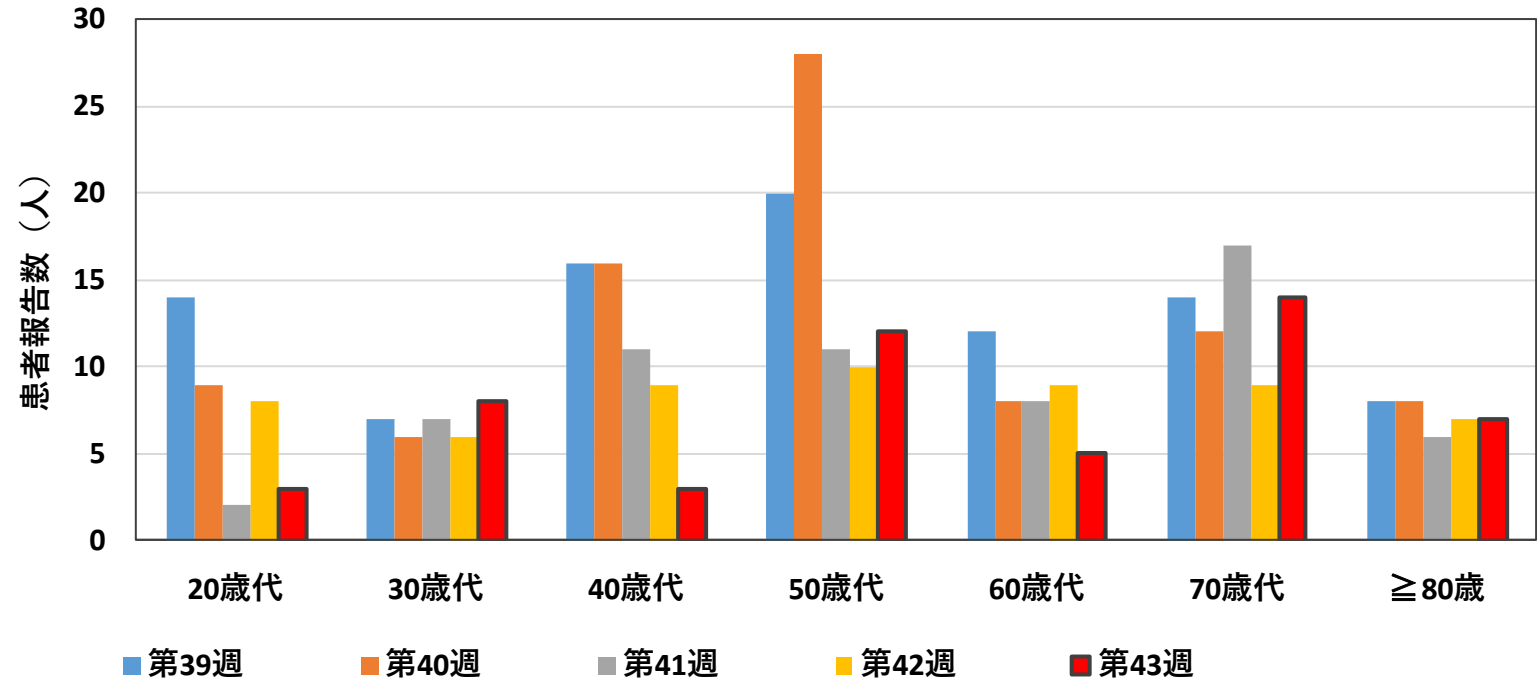


図3-2. ≥20歳



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 5～9歳、30歳代、50歳代、70歳代で先週から増加し、0～4歳、15～19歳、20歳代、40歳代、60歳代で減少した。

図4. COVID-19入院サーベイランス  
患者報告数の推移（富山県）

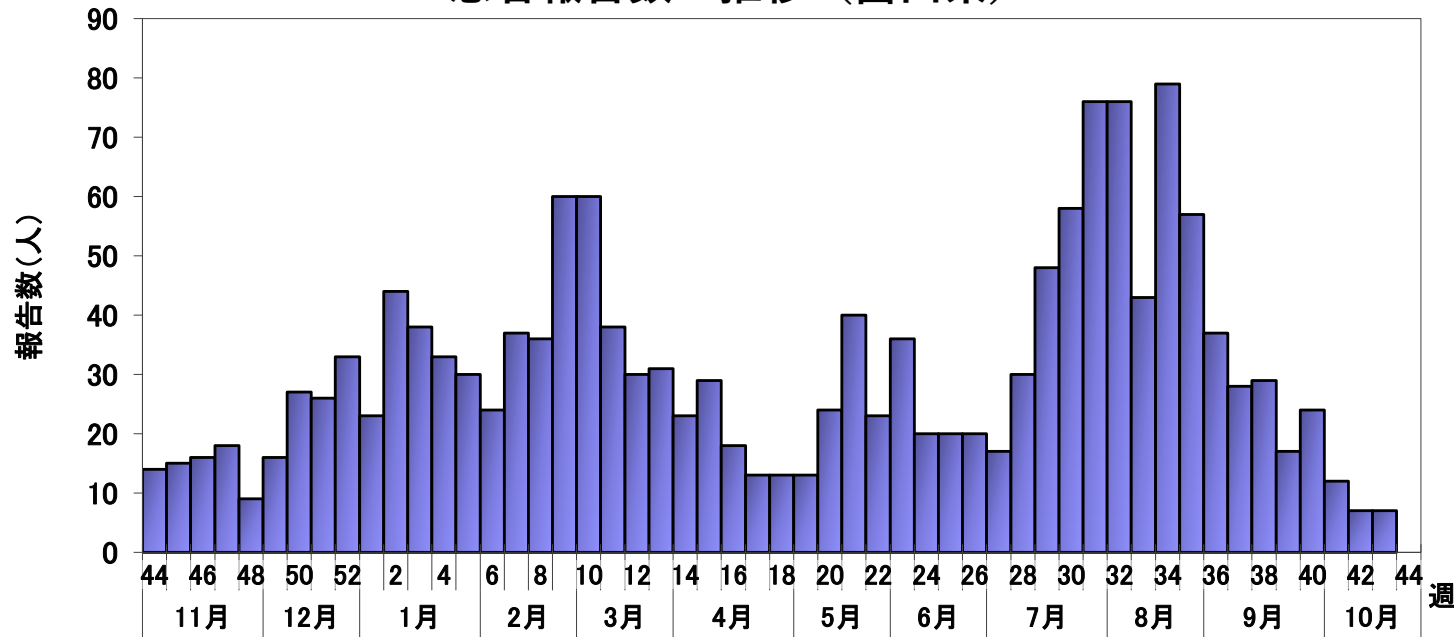
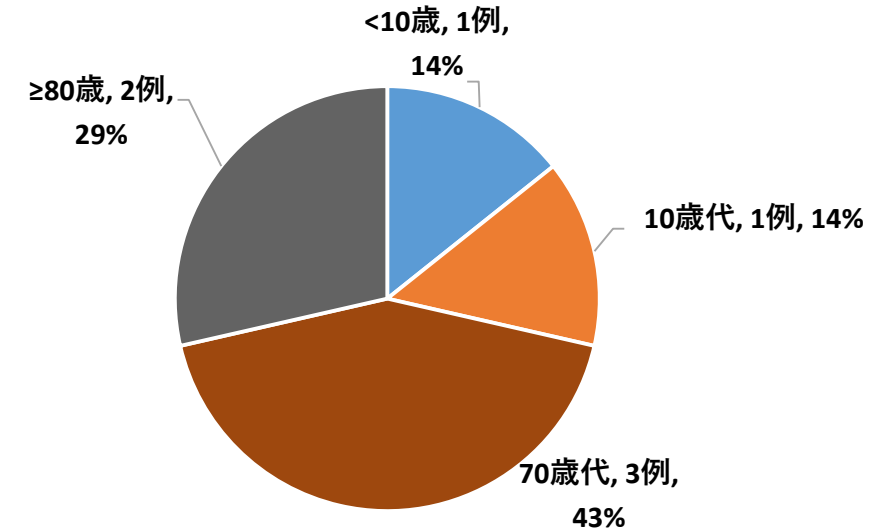


図5. COVID-19入院サーベイランス  
年代分布（第43週、7例）



※割合 (%) は四捨五入した整数で表記されるため、合計が100%にならない場合がある。

- ・ 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第43週に7例の入院報告があり、先週（7例）と同数であった（図4）。
- ・ 患者の年代は、10歳未満と10歳代が各1例、70歳代が3例、80歳以上が2例で、70歳以上が72%を占めた（図5）。
- ・ COVID-19の患者報告数は、県内では第35週以降減少が続いているが、昨シーズンは冬季にかけて報告数が増加しているため、引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。